

展覧会「広がる屏風、語る絵巻」

会期 2025年5月24日(土)～8月3日(日) ※一部展示替えあり

「屏風」は風よけや間仕切りとして使用された実用性の高い調度。空間を彩る美術品として多くの絵師たちによって絵が描かれ、さまざまな画題や様式による屏風絵が展開しました。人の背丈ほどの屏風では、大きな画面に広がる絵画世界と一体となった感覚を味わえます。

「絵巻」は、巻物（^{かんず}卷子）形式の絵画で、鑑賞者が自ら開き、巻き進めながら見るもの。コマ割りされた絵を連続させることで空間の移動や時間の推移を表現できることから、物語性のある主題が多く描かれました。後世に切断され、掛軸となった「断簡」も数寄者たちに賞玩されてきました。

本展では、細見コレクションを中心に、空間に広げて鑑賞した屏風と、手許で展開して楽しんだ絵巻を紹介します。豊臣秀吉の花見行列を描いた《豊公吉野花見図屏風》のほか、室町幕府第11代將軍足利義澄が愛蔵していた《硯破草紙絵巻》^{ほうちょう}など、異なる形式の絵画の特質に触れるとともに、個々の作品の魅力を堪能してください。



重要文化財 《豊公吉野花見図屏風》 桃山時代 細見美術館蔵

—主な出品作品—

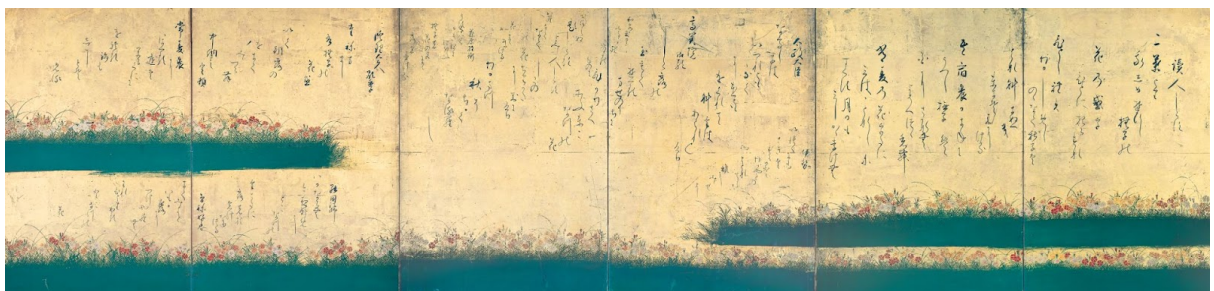
屏風



《祇園祭礼図屏風》（右隻） 江戸前期 細見美術館蔵



岩佐又兵衛 《源氏物語図屏風「総角」》 江戸前期 細見美術館蔵



《撫子図屏風》 江戸前期 細見美術館蔵

絵巻



《藤の衣物語絵巻》（部分） 室町前期 細見美術館蔵



《硯破草紙絵巻》（部分） 明応4年(1495) 細見美術館蔵



住吉如慶《さりぎりす絵巻》(下巻・部分) 江戸前期 細見美術館蔵

— 展覧会概要 —

* 会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトをご覧ください。

展覧会名称	広がる屏風、語る絵巻
会 期	2025年5月24日(土)～8月3日(日)
開 館 時 間	午前10時～午後5時
休 館 日	毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
入 館 料	一般 1,800円 学生 1,300円
主 催	細見美術館 京都新聞
会 場	細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 http://www.emuseum.or.jp
本展連絡先	細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代) 広報担当 大塚 kouhou@emuseum.or.jp

《事前予約不要》混雑時は入場をお待ちいただく場合があります。



展覧会資料（画像）・取材をご希望の方は、[ホームページリリースページ](#)
もしくは左記QRコード「[資料・ご取材申込フォーム](#)」からお申込みください。